Claude Desktop 最新Tipsチートシート

会話・Code タブ・Quick entry・Routines の使い分けとキー操作、実機で分かった落とし穴 ／ 2026-09 時点

Givery

入口ごとの使い分け

入口	できること	向いている仕事	注意
会話（Chat と Cowork を統合）	質問も、フォルダを渡す長い作業も同じ会話で頼む。道具は Claude が選ぶ	調べもの、資料の下書き、Design・Slides・Docs	9/16 から順次展開。切替タブが見えたら旧画面。統合後は戻せない
Code タブ	Claude Code の画面版。並列、worktree、差分、プレビュー、PR	書く、直す、PR を出して CI を通す	CLI と設定・CLAUDE.md・スキル・フックを共有。Agent Teams は不可
Quick entry（Mac）	どのアプリの上でも Option 2回。範囲スクショ、ウィンドウ添付、音声入力	画面を見せて聞く	画面収録とアクセシビリティの許可が要る
Routines	ローカルは起動中かつ PC が起きている間、リモートは PC を閉じても定時実行	朝の要約、定例のレビュー	最短はローカル1分、リモート1時間
Dispatch	スマホから指示すると、Desktop で Code や Cowork が動き、終われば通知	移動中に作業を投げる	Pro・Max のみ。Team・Enterprise は不可
Cowork のクラウド実行	PC を閉じても続く。 `/schedule` で定期実行にもできる	長い調査や資料づくりを任せる	手元のファイル・ブラウザ・画面操作には Desktop が要る

ショートカット（Windows は Cmd を Ctrl に）

キー	動作	キー	動作	キー	動作	キー	動作
Cmd+/	一覧を出す	**Cmd+Shift+I**	モデル	**Cmd+Shift+D**	差分ペイン	**Cmd+;**	サイドチャット（ `/btw` ）
Cmd+N・W	開く・閉じる	**Cmd+Shift+E**	エフォート	**Cmd+Shift+B**	ブラウザペイン	**Cmd+Enter**	差分コメントを一括送信
Ctrl+Tab	次のセッション	**Cmd+Shift+M**	権限モード	**Cmd+Shift+S**	ブラウザで要素を指す	**1〜9**	開いたメニューの項目
Esc	応答を止める	**Ctrl+O**	Normal・Thinking・Verbose	**Ctrl+`**	ターミナル	**Option 2回**	Quick entry（Mac）
`/rewind`	巻き戻し（Esc 2回は効かない）	**`/usage`**	5時間枠・週枠・コスト	**Cmd+**	手前のペインを閉じる	**Caps Lock**	Quick entry で音声入力

権限モード（入力欄の下で切替）

手動 編集もコマンドも毎回聞く

編集を受け入れる ファイル編集は自動、ターミナルは聞く

プラン 読んで方針だけ出す。大きい修正の前に

自動 裏で安全チェックをかけて進む。聞かれる回数が減る

権限をバイパス 何も聞かない。Pro・Max で設定から有効化。隔離した環境だけで

クラウドでは 編集を受け入れる・プラン・自動 の3つだけ

実機メモ Cmd+N の新しいセッションは 自動 に戻っていた（9/16）

Code タブの技

並列と worktree セッションごとに `.claude/worktrees/` で隔離。未コミットの変更を互いに壊さない

動作確認を任せる `.claude/launch.json` に dev サーバーを書くと、編集のたびにスクショと DOM 確認まで自分でやる

差分レビュー `+12 -1` を押して行にコメントし、Cmd+Enter でまとめて返す。Review code はバグだけ見る

PR 差分画面から作る。Auto-fix は CI の失敗を直し、Auto-merge は通れば統合。gh が要る

巻き戻し `/rewind` かホバーから。コードと会話・会話のみ・コードのみの3択。シェルでの変更は戻らない

セッションの種類 ローカル、クラウド（アプリを閉じても続く）、SSH、WSL

Desktop で開けないもの・つまずき

`/permissions` ・ `/hooks` 入力欄では開けない。settings.json を見るか、統合ターミナルで `claude` を起動して打つ

Agent Teams 非対応。並列はサブエージェントか動的ワークフローで

`-p` と `--output-format` スクリプトからの実行は CLI で

ワークスペースの信頼 初めてのフォルダで出る確認を承認しないと、フックと deny が読まれない

サブエージェントの effort バックグラウンドタスクのペインに出るのはモデル名・トークン数・ツール回数だけ

会話側の設定と拡張

Instructions for Claude Settings > General。全会話に効く前提を書く（旧 Global instructions）

Memory 7/10 からカテゴリ別の項目に。8/25 から Cowork のクラウド実行とも共有

Connectors Customize > Connectors の + で追加。既定は Auto、10個を超えたら On demand

Desktop extensions `.mcpb` を開くだけでローカルの MCP サーバーが入る

Plugins スキル・コネクタ・サブエージェントの束。会話・Code・Cowork 共通

Claude in Chrome ブラウザを読んで押して進める拡張。有料プラン全部

Computer use Settings > General で ON。Mac・Windows の Pro・Max のみ

活用のベストプラクティス

大きい修正を頼む プランモードで方針を出させ、合意してから実行に切り替える。方向違いの手戻りがいちばん高い

別の作業に移る 新しいセッションか `/clear` 。戻るなら `/rename` と `/resume` 。古い文脈は毎ターン読み直される

定例作業を Routines に 作ったら Run now で1回回し、出た許可を「常に許可」に。手動モードは許可待ちで止まる

時刻が大事な定例 「17時を過ぎていたら要約だけ」と条件を書く。寝ていた回は起きた時に補うので、朝の予定が夜に走る

同時に何本も セッションを作る時に worktree を選ぶ。同じ作業ツリーを取り合わない

コネクタ 使うものだけ ON。gh など CLI がある道具は CLI で。ツールの定義が文脈を食う

重い判断 Cmd+Shift+E でエフォートを上げる。Code タブの Opus 5.5 は既定 medium で、浅く終わることがある

Tips・注意

音声入力の既定キーは Caps Lock。Caps Lock を別の常駐アプリに割り当てているなら、Quick entry 側のキーを設定で変える。

統合画面は同じプランでも人によって出る時期が違う。研修では最初に受講者の画面を見て、旧画面か新画面かを確かめる。

Code タブと CLI は `~/.claude/settings.json` を共有する。片方で足した許可ルールやフックは、もう片方にも効く。

Sources（公式・一次情報 / クリックで開く）

1. Claude Code Desktop
2. Desktop のスケジュールタスク
3. Cowork と chat の統合
4. Quick entry
5. Cowork の概要
6. コネクタの管理
7. リリースノート
8. Desktop extensions
9. Claude in Chrome
10. モデルとエフォート

Copyright © 2026 Givery, Inc. All Rights Reserved.